

令和6年度
奈良市
地域に飛び出す
学生支援事業

課題提示型 課題一覧

テーマ

分野	番号	テーマ	分野	番号	テーマ
環境	1	ごみ減量推進インフルエンサー	福祉	12	地域で高齢者が活躍する場や機会を創出しよう！
	2	ごみ減量実証実験		13	知ってほしい、こんな仕事もあるんだよ！ ～介護業界の情報を、若者をはじめ幅広い世代へ発信しよう～
	3	脱炭素化のPR・啓発		14	ヤングケアラー支援をしよう！（ピアサポーター）
学生のまち	4	若者がもっと活躍する奈良市へ！	子育て	15	ヒト(ボランティア)とモノ（寄附）を広めよう！フ ードバンク事業の広報
納税	5	ふるさと納税のPR・寄附拡大へ！	健康	16	地域の自殺対策のキーパーソン（ゲートキーパ ー）の養成
文化	6	若者から発信する文化振興！		17	自分ごとで考えよう！ HIV・性感染症予防の情報発信
スポーツ	7	20、30代へのスポーツ推進！		18	自分ごとで考えよう！子宮頸がん検診の啓発
男女共同	8	若者から発信するダンジョキョウ ドウサンカクとは	教育	19	過疎地域（田原中学校区・興東館柳生中学校区） における地域学校連携活動の活性化
観光	9	東部地域への誘客を考えよう！		20	放課後子ども教室を盛り上げよう！
福祉	10	民生委員・児童委員活動の広報につ いて考えてみませんか		21	地域の子どもの学びの場の創設
	11	認知症に関する正しい知識と正しい理解を広めよう！		22	図書館での講習会やイベントの開催に向けた企画 立案

優先
審査



1. ごみ減量推進インフルエンサー

担当課：廃棄物対策課（0742-71-3001）

課題・思い描く未来の姿

循環型社会（ゼロカーボン社会）の実施の向けて、ごみ減量が必要となっている。また、広報についてはしみんだより等を利用しているが、若者にも目につくような取り組みが必要。

取組状況

市ホームページ、しみんだより等で情報発信しているが、SNS等の活用は不十分である。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

ごみ減量の取り組み、啓発についてSNS（Instagram、X等）を活用した効果的な情報発信

2. ごみ減量実証実験

担当課：廃棄物対策課（0742-71-3001）

課題・思い描く未来の姿

循環型社会（ゼロカーボン社会）の実施の向けて、ごみ減量が必要。

取組状況

「雑がみ」についてのPR啓発を行っている。食品ロス削減についてはPR啓発を行うとともに、食品小売店舗での「てまえどり」広報（ポップ・ポスター掲示、音声アナウンス）実施

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

- ・「雑がみ」のPR啓発及び回収方法の提案や試験実施等
- ・「食品ロス削減」の実施

※ごみ減量につながるものであれば雑がみ回収促進、食品ロス削減以外の取組みでも可。





3. 脱炭素化の周知・啓発

担当課：環境政策課（0742-34-4591）

課題・思い描く未来の姿

2050年までに目指す脱炭素社会（市全体で温室効果ガス排出実質ゼロ）の実現には、市民等にも脱炭素化の取組（省エネや再エネの導入等温室効果ガス排出を抑制する取組）を実施してもらう必要がある。

取組状況

民間事業者向けには設備投資に対する補助金制度を実施し、市民向けには学校現場や市民からの要望に応じた環境教育講座の実施や、集客施設での環境に関するイベント・啓発事業を行っている。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

市民や学生等に対して脱炭素化の取組を促すPR・啓発活動やイベント等の実施

4. 若者がもっと活躍する奈良市へ！

担当課：秘書広報課（0742-93-3470）

課題・思い描く未来の姿

奈良市の人口は5年連続社会増（転入超過）。しかし、まだ知られていない奈良の魅力的な企業や地域で若者が活躍するプロジェクトも多い。広く知られる機会を作ることで、さらに若者が集い、活躍する奈良市を実現したい。

取組状況

学生の交流イベント「奈良の学生MeetUp」の開催や学生の地域活動に広報協力することで地域と学生との関係づくりを支援している。奈良市公式LINEで「学生向けおすすりめ情報」を発信している。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

- ・就職先候補になる奈良の魅力的な企業のPR（例：企業の取材と学生へのPRなど）
- ・学生が活躍しているまちであることのPR（例：奈良で活躍する学生の取材とPRなど）
- ・学生が気軽に立ち寄れる場づくり（例：カフェ運営や自習室等の運営など）





5. ふるさと納税のPR・寄附拡大へ！

担当課：納税課（0742-34-4727）

課題・思い描く未来の姿

奈良市のふるさと納税の情報（市の魅力や返礼品情報）をもっと発信したり、新たな魅力的な返礼品を開発することにより寄附の拡大につなげることが必要。

取組状況

- SNSによる発信や市内施設等にパンフレットを設置することによりPRしている。
- 市内の事業者へ返礼品登録の提案を行っている。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

- ふるさと納税のPR・情報発信
- ワークショップや市民への聞き取り調査を実施して、ふるさと納税新規返礼品のアイデアの提案

6. 若者から発信する文化振興！

担当課：文化振興課（0742-34-4942）

課題・思い描く未来の姿

様々な理由によって文化芸術に触れる機会が減少している中、今後の文化振興のためには様々な年代を対象とした文化に触れる機会が必要。

取組状況

福祉施設や子どもの施設等へのアウトリーチ（芸術家派遣）、参加・観覧無料のイベントや展覧会を開催している。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

アウトリーチやワークショップ、公演など様々な方法の中から、対象となる属性（子育て世帯・若者・高齢者等）に対して効果的な方法を検討し、文化芸術に触れる機会の創出





7. 20、30代へのスポーツ推進！

担当課：スポーツ振興課（0742-34-5376）

課題・思い描く未来の姿

「成人の週1回以上のスポーツ実施率70%以上」（2026年度国目標値）に向けスポーツ実施率を向上するためには、実施率の低い20代、30代のスポーツへの参加を増やすことが必要。

取組状況

市民スポーツ大会やスポーツ体験フェスティバル等のイベントを通じ、スポーツ振興に取り組んでいる。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

実施率の低い、20代、30代（特に働く世代、子育て世代）が参加できるスポーツイベントの開催などのスポーツを行う機会の創出

8. 若者から発信するダンジョキョウドウサンカクとは

担当課：共生社会推進課（0742-81-3100）

課題・思い描く未来の姿

女性に比べ男性は育児休業が取得しづらいなど性別による役割分担意識が現在も残っているため、若い世代に男女共同参画について主体的に考えてもらう機会を創出し、人の意識や社会の雰囲気を変えるような取組が必要。

取組状況

市内の大学で学生が結婚や家族、子育てや仕事をテーマにライフを含めてキャリアを考える講座や、若い男性の家事育児の参加を促進する講座・ワークショップを実施している。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

若い世代が男女共同参画について主体的に考える機会の創出

（例：大学生を対象に、普段どのような場面や状況でジェンダーギャップを感じるかや、ジェンダーギャップの解消に向けてどんな取り組みなら参加したいかについて調査を実施するなど）





9. 東部地域への誘客を考えよう！

担当課：東部出張所（0742-93-0001）

課題・思い描く未来の姿

市東部地域(田原、興東館柳生中学校区)は、市中心部から車で約30分の場所で、自然豊かな観光資源があり、気軽なお出かけスポット。観光や地元産業である農業の活性化のためには、交流人口や関係人口の創出が必要。

取組状況

里山の魅力を宿泊や体験を通じて楽しむことができる「さとやま民泊事業」を展開し、20～30代の子育て世代をターゲットに、誘客キャンペーンやイベントの実施、HP等での情報発信を行っている。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

20～30代の子育て世代をターゲットにした情報発信の企画立案のほか、観光キャンペーンやTobu高原マルシェの企画立案、実動など、東部地域への誘客全般。

10. 民生委員・児童委員活動の広報について考えてみませんか

担当課：福祉政策課（0742-34-5196）

課題・思い描く未来の姿

民生委員・児童委員の成り手・担い手不足。その主な要因には、高齢化や定年退職後の労働者の増加、そもそも民生委員、児童委員の「認知度の低さ」が大きいとも考えられ、市民へのPR・啓発が必要。

取組状況

しみんだよりへの掲載（令和4年2月号、令和4年5月号）や、奈良交通バスの車内広告掲載（令和4年5月）

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

民生委員・児童委員活動のPR・啓発

（例：学生等へのアンケートの実施による認知度の把握や、民生委員・児童委員の活動に参加し、活動における印象を把握し、それを基に必要な広報等について分析し提案する。）





1 1. 認知症に関する正しい知識と正しい理解を広めよう！

担当課：福祉政策課（0742-34-5196）

課題・思い描く未来の姿

認知症の人に関する正しい知識を広め、正しい理解を深める必要がある。

取組状況

認知症地域支援推進員が中心となって、認知症に関する正しい知識・理解の普及啓発を行っている。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

認知症に関する全般的な実態把握と正しい理解への啓発

（例：若年層の「認知症」に関するイメージ調査や、まちで「認知症かな？」と思う人を見かけたときの対応の調査（通り過ぎる、警察に連絡する、市に連絡する等）、認知症のことを知らない要因の分析など）

1 2. 地域で高齢者が活躍する場や機会を創出しよう！

担当課：長寿福祉課（0742-34-5196）

課題・思い描く未来の姿

老人クラブは、高齢者を主とした地域の大切なコミュニティで、構成員の高齢化で団体の管理運営が課題。地域における共助の必要性が高まる中、将来住民同士による助け合い、支え合い活動のためにどうあるべきか考える必要がある。

取組状況

老人クラブの一般的な活動の周知啓発として、しみんだよりや市のイベントへのブース出展で広報している。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

老人クラブの管理運営を維持していくため、団体が抱えている課題を整理、解決に向けた方策を提案し、実践するまでの道筋を提案。

（例：構成員不足に対して、老人クラブの認知度を高めるため、子どもも高齢者も参加できるイベント等の企画運営を行う。）





1 3. 知ってほしい、こんな仕事もあるんだよ！

～介護業界の情報を、若者をはじめ幅広い世代へ発信しよう～

担当課：介護福祉課（0742-34-5422）

課題・思い描く未来の姿

現在、介護業界の人材不足はとて深刻な問題です！特に若い世代の就職希望者が非常に少なく、これは一般的に本業界に関する認知度の低さやマイナスイメージがあり、就職先の候補になりづらいことが理由と考えられます。

取組状況

- ・市役所内で、介護業界の啓発に関するパネル展示の実施(年3回)
- ・介護資格を取得するための研修受講料の助成
- ・介護に関するイベント等の広報(メール、奈良市HP、課公式SNSで)

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

介護業界そのものや本業界への就職に対する学生等の認識の実態把握と就職先の候補に考えてもらうきっかけ作り。

- (例：・学生等へのアンケート調査の実施
・現場見学や職員へのインタビュー
・公共の場での展示やSNS等での啓発)

1 4. ヤングケアラー支援をしよう！ (ピアサポーター)

担当課：子育て相談課（0742-34-4804）

課題・思い描く未来の姿

近年、特に子どもが家族のケアを担うケースが注目されているが、複合的な問題が絡み、本人からSOSを出しづらい。そこで、同年代から啓発を行い、経験者や当事者同士が悩みを共有、相談できるピアサポート拠点作りが課題となっている。

取組状況

奈良市子どもセンター内に、ヤングケアラーコーディネーターおよび相談窓口を設置。併せて「子どもケアラーサポート」（サポーター派遣事業）を企画、実施。関係機関との支援体制の構築。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

ヤングケアラー問題・支援に関心がある学生が集い、同年代に向けて啓発を行い、ヤングケアラー同士が悩みを共有・相談できる居場所をオンラインで実施する。





15. ヒト(ボランティア)とモノ(寄附)を広めよう！フードバンク事業の広報

担当課：子ども育成課（0742-34-5042）

課題・思い描く未来の姿

寄附品の仕分け等を実施していただく協力ボランティアや、寄附品の確保を目的とした、事業の広報強化が必要。

取組状況

フードドライブ強化月間やボランティア体験会の実施を行っている。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

寄附品や協力ボランティアの募集を目的としたフードバンク事業の広報手段についての提案と実証。

16. 地域の自殺対策のキーパーソン（ゲートキーパー）の養成

担当課：保健予防課（0742-93-8397）

課題・思い描く未来の姿

広く市民にゲートキーパーになってもらい奈良市の自殺リスクを下げたい。ゲートキーパーの参加者の増加が必要。

取組状況

ゲートキーパーに関心を持った地域の団体から依頼を受け、職員を派遣して養成研修を開催している。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

地域への自殺対策の啓発や、ゲートキーパーのPRや養成について取り組みを実施。





17. 自分ごとで考えよう！HIV・性感染症予防の情報発信

担当課：保健予防課（0742-93-8397）

課題・思い描く未来の姿

若年層へHIV・性感染症予防の正しい知識や保健所検査について、直接学生に伝える機会がほぼなく、有効な啓発が必要。

取組状況

市内大学へ年2回、ポスターやちらしを配布している。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

HIV・性感染症や予防について、学生への啓発や学生同士が自分事としてとらえる取り組み方法等を考え、実施。

18. 自分ごとで考えよう！子宮頸がん検診の啓発

担当課：保健予防課（0742-93-8397）

課題・思い描く未来の姿

大学生も含め20歳代の子宮頸がん検診の受診率が低いため、20代への受診の必要性の啓発が必要。

取組状況

子宮頸がん検診の受診勧奨として、4月1日時点20歳の女性市民に無料クーポン券、年度末年齢が20歳以上の偶数年齢の女性市民に受診票（けんしんパスポート）を送付。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

子宮頸がんの理解が深まり子宮頸がん検診の受診行動につながるようSNSでのPRや啓発イベントの実施。





19. 過疎地域（田原中学校区・興東館柳生中学校区）における地域学校連携活動の活性化

担当課：地域教育課（0742-34-5366）

課題・思い描く未来の姿

田原及び興東館柳生中学校区では人口減少に伴い、学校の統廃合が進み、授業支援や地域と学校の合同イベント等の地域学校連携活動の担い手不足や高齢化が問題となっている。

取組状況

令和6年度より、他校区で活動している地域学校連携活動の担い手を困っている地域に派遣し、事業の企画運営に関してアドバイスをを行い、活性化のきっかけづくりとする予定である。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

「教育」を要とした地域活性化（東部振興）を目指し、子どもも大人も参加できる地域特性を活かしたイベントを地域住民を巻き込みながら企画運営を行う。地域住民を巻き込むことにより、地域学校連携活動の担い手育成につなげていただきたい。

20. 放課後子ども教室を盛り上げよう！

担当課：地域教育課（0742-34-5366）

課題・思い描く未来の姿

現在市内全42小学校で放課後子ども教室（放課後等に子どもたちに多様な体験の機会を提供する教室）を実施しているが、担い手の固定化・高齢化により、プログラム（企画）のマンネリ化や現代の子どもに応じたプログラム更新が必要。

取組状況

教室の実施内容（プログラム開発）に苦慮されていることより、他部署が管轄する出前講座やNPO等から案内があったプログラム（企画）等に関する情報提供を各教室に行っている。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

子どもたちを惹きつけるとともに資質向上にもつながるような放課後子ども教室におけるプログラムやメニューの開発・実施。





2 1. 地域の子どもの学びの場の創設

担当課：教育支援・相談課（0742-36-0401）

課題・思い描く未来の姿

教育センターで実施するキッズホリデークラブでは、子どもたちに学習や体験の場を土・日・祝を中心に提供している。実施中の講座以外にも、今後は地域で学ぶ学生が地域の子どもに教える場も設立していきたいと考えている。

取組状況

地域連携協定を結んだ大学の教員等を招き、その学生とともに講座の実施

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

大学等で学ぶもの、またはサークル等の活動について、キッズホリデークラブの指定日に1時間程度の講座を企画実施する。

2 2. 図書館での講習会やイベントの開催に向けた企画立案

担当課：中央図書館（0742-26-6124）

課題・思い描く未来の姿

図書館で開催する絵本の読み聞かせ等の本に関する講習会やイベント等がコロナにより途絶えており、新たな参加者層へ呼びかけてのイベント企画が必要。

取組状況

新たな担い手を探し、企画内容を調整しているが、難航している。

学生の皆さんに力を貸してほしいこと

「自分たちが参加したい講習会」の視点で講習会を企画・実施する。





「課題提示型」を選択する場合は、申請前に事業内容を事前相談する必要があります。下記の期間中に「事前相談シート」を奈良市総合政策課学生のまち支援担当（gakuseinomachi@city.nara.lg.jp）まで、メールにて提出してください。

<事前相談受付期間>

令和6年5月20日(月)～26日(日)

行政課題提示型 の申請までの 流れ



first
課題を
選択

必須!

second
事前
相談

事前相談受付期間

令和6年5月20日(月)～26日(日)

last
申請!

申請期間

令和6年6月3日(月)～12日(水)





ありがとう ございました！

ご応募お待ちしております。

ご不明な点がございましたら、ホームページのお問い合わせ
フォームからお問い合わせください。

